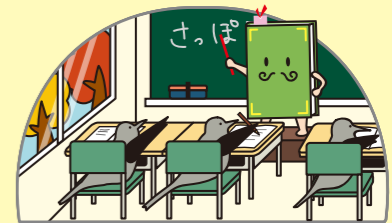


でも不安もありません。  
先生になりたい。

人口約195万人の大都市札幌。  
ショッピング、グルメ、コンサートなど都市生活を満喫できます。  
それでいて海も山も、国立公園までも車で1時間以内に。  
市内にいくつものスキー場があるので、  
冬は仕事帰りにナイタースキーを楽しむこともできます。  
都市生活とアウトドア、両方が身近。オフタイムも充実できる環境です。



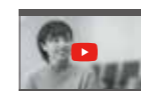
- 凡例
- 札幌市営地下鉄南北線
  - 札幌市営地下鉄東西線
  - 札幌市営地下鉄東豊線
  - 札幌市電
  - 高速道路
  - スキー場
  - キャンプ場

さっぽろLIFE MEMO

- ・札幌駅から半径20km以内のスキー場 9カ所
- ・札幌駅から半径20km以内のキャンプ場 8カ所
- ・札幌市の市立図書館 12カ所
- ・札幌駅から最寄りの海水浴場までの距離 約17.5km
- ・札幌駅から新千歳空港 約51km (JR快速で約37分)

札幌市教育委員会学校教育部教職員課

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/kyoshokuin/saiyoannai.html>



本パンフレットに掲載のインタビューを  
動画で公開しています ▶▶

札幌市 教員

WEB



教員の仕事は  
ワクワク、ドキドキ。  
毎日がびっくり箱のよう



小学校／平成30年採用

高橋 知華

迷いもあった。  
不安もあった。  
でも、先生になった。

迷いをどう断ち切ったのか？

不安はどう解消したのか？

今はどんな毎日を過ごしているのか？

札幌で先生になる。

そう決断した先輩たちの言葉の中に

みなさんの未来が見えるかも。



子どもたちと向き合い、  
不安もなくなった

先生に向いているかも  
ね。小学生のときにそう言

われ、漠然と小学校教員を  
目指していました。でも、  
保護者との対応の難しさ  
などがニュースで話題に  
なると、大変そうというイ  
メージがつきまとい、一般  
企業に就職するか迷った  
ときもありました。

教員になってすぐに一  
年生を担任。おどおどした  
ときもありましたが、子ど  
もたちと日々明るく接し、  
信頼関係ができあがった  
ら、自然と保護者の方とも

信頼を築くことができま  
した。

一年が終わるとき、ある  
保護者の方から「先生が担  
任で良かった」と手紙をい  
ただきました。それは今で  
も宝物です。

子どもたちとしっかりと  
向き合うことが大事だと  
分かった今は、「分かりや  
すい先生」になりたいと  
思っています。しかるとき  
はしかる、楽しむときは楽  
しむ。しかるときは、どう  
してしかっているかをき  
ちんと伝え、子どもたちに  
理解してもらおう。そんな風  
に関わっていきたいです。

教員という仕事は、毎日  
がびっくり箱のようです。  
同じ日は一日としてなく、  
ワクワク、ドキドキしてい  
ます。もちろん大変なこと  
もありますが、自分の何気  
ないひとりで子どもが元  
気になったり、成長してい  
く姿にやりがいを感じて  
います。



## 読書を通して 学び続けようとする心を培う その方針に共感

中学校二年生のとき、人間関係や勉強のことで悩み、誰にも相談できずにいたら、担任の先生が「大丈夫？」と声をかけてくれました。

これがきっかけで、自分も悩んでいる子の力になりたいと中学校教員を目指すようになりました。

スクールカウンセラーになることを考えたときもありましたが、中学校教員になることを目標に高校も大学も決めていたので教員に挑戦。

本州出身なので、採用検査をどこで受けるか迷いましたが、札幌市が読書に力を入れていることを知り、そこに魅力を感じて札幌市にしました。

読書を通して学び続けようとする心を培うという考えが良いと思いました。

今は試行錯誤の毎日ですが、子どもたちの成長を目の前で感じられるのが一番のやりがいです。

中学校／平成31年採用

阿部 紗夕



## 自然、食べ物、人。 魅力が詰まった札幌の街

サッカー選手になる夢を諦めたとき、恩師から教育大学をすすめられ、教員の道へ。

どこの自治体で教員になるか迷いましたが、札幌は旅行で何度か訪れて、自然は豊かだし、食べ物もおいしいし、何より人がいいなと思って候補に挙げていました。スキーが大好きだったので、雪という土地に根差した教材があるのも魅力だと感じ、最終的に札幌市に決めました。

今の学校がスキー場から車で五分の距離なので、冬になると仕事終わりに滑りに行くのが楽しみになっています。

学校では、子どもたちと「できた！」と喜びを分かち合うことをやりに感じています。周りの先生たちもやさしくて、学級経営の仕方などアドバイスをもらえることもとてもありがたいです。

interview  
03

小学校／平成30年採用

有馬 望



interview  
04

## 温かく、支え合う。 家族のようなクラス。

先生になって一年目、周りの先輩教員の皆さんに支えられながらですが、日々やりがいを感じて仕事をしています。子どもたちが自発的に頑張ろうとする姿や、私の足りないところを助けようとしてくれる姿を見ると、うれしくなります。四月に、クラスの目標を「ふあみりい」と掲げました。数カ月して、発表をするのが苦手な子が頑張って発表し、周りから自然と拍手が起こったときは、クラス全体が家族のように温かく感じられ、子どもたちにもきちんと想いが伝わっていたのだと感動しました。

小学校／平成31年採用

遠藤 みりい

interview  
05

## 自分の工夫や努力で 生徒たちが変わっていく

高校までは小説家になって芥川賞を取るのが夢でした。小説と美術は表現するという点が似ていて、美術の道に進みました。美術は高校受験に関係のない科目ですが、授業を通して自己表現の面白さを知ってもらいたいです。

工夫次第で、生徒たちの真剣な表情や集中力を引き出すことができているのもモチベーションにつながっています。教員は、気軽に誰でもできる仕事とは言えませんが、大きなやりがいがあると思います。プレッシャーを感じることもありますが、自分を成長させる場として前向きにとらえています。

中学校／平成31年採用

阿部 永

## 子どもたちから信頼され、 頼られる先生になる

親の転勤で三つの小学校に通いました。たくさん先生たちに支えられて学校生活を送るうち、いつしか自分も頼られる教員になりたいと思うようになりました。今は特別支援学校に勤務し、病気や障がいのある子どもと関わる中、彼らの笑顔や成長から僕もエネルギーをもらっています。まだ二年目で、周りの先生たちにたくさんサポートしてもらっていますが、教員になってよかったし、この仕事を誇らしく思っています。子どもたちが「明日も学校へ行きたい」と言ってくれるようにこれからも頑張りたいです。

interview  
06

特別支援学校／平成30年採用

佐藤 峻介

# 札幌市学校教育の重点

札幌らしい特色ある学校教育を推進します

雪国札幌を考える

雪



札幌の大切な特色の一つであり、「札幌らしさ」を学ぶための貴重な資源である「雪」を通して、ふるさと札幌への思いを強め、雪に親しみ、雪と共生しようとする心を培います。

未来の札幌を考える

環境



「環境首都・札幌」宣言に基づき「さっぽろ地球環境憲章」を制定した札幌の市民として、四季折々の美しい自然と豊かな文化を次世代に伝え、地球と札幌のよりよい環境を創造しようとする心を培います。

学びの基盤となる

読書



「読書」により言葉を読み、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするとともに、「知的好奇心」をふくらませ、一生涯にわたり学び続けようとする心を培います。

知・徳・体の調和のとれた育ちを推進します

## 学ぶ力の育成

分かる・できる・楽しい  
授業づくりの充実を進めます。

- ① 「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実
- ② 「自分への自信をもたせるきめ細かな指導」の充実

## 豊かな心の育成

互いに尊重し、支え合いながら  
よりよく生着ようとする態度を  
育みます。

- ① 考え、議論する道徳の充実
- ② 命を大切にする指導の充実
- ③ いじめの防止・早期発見・対処の取組
- ④ 不安や悩みを抱えた子どもに対する教育相談体制の構築

## 健やかな体の育成

生涯を通じて運動に親しむための  
基礎を培うとともに、積極的に  
心身の健康の保持増進を図る  
資質・能力を育みます。

- ① 体力・運動能力の向上
- ② 部活動の質的充実
- ③ 食育など、健康に関する指導の充実

学校・家庭・地域の連携による取組の推進

子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

学校も、家庭も、まほうのかいわで習慣づくり



迷いもあつたけれど  
教員になってよかった

ずっと教員志望でしたが、悩んだり迷うことはありました。今は、生徒の「できた！」と喜ぶ表情を見るたび、先生になってよかったと感じています。現在は、一年生のときから関わっている三年生のクラスを受け持っていますが、生徒の大きく成長する姿を間近で見られるのもうれしいです。この仕事にゴールはなく、学校では常に新しいことが起きます。自分も成長しようという気持ちを持ち続け、多感な中学生のそれぞれの想いや考えをきちんと感じ取って、良いところを伸ばしてあげたいです。



中学校/平成30年採用  
足立 祐貴

一人で頑張らなくていい  
周りが支えてくれる

一年目でまだまだですが、子どもたちが何でも話しやすい教員を目指しています。大変そうなのになぜ教員を志望したの？と聞かれることもありましたし、好きな英語を話かせるグラウンドスタッフになるか迷ったときもありました。でも、今は教員になってよかったと思っています。周りの先生や子どもたちにも支えられ、今は刺激を受ける毎日です。札幌は学校の数も先生の数も多く、研修の機会もたくさんあり、サポートも整っています。少しでも教員になりたいという思いがあるならば、ぜひ挑戦してほしいです。



中学校/平成31年採用  
中井 あやめ

楽しく仕事をするには、  
準備と余裕が必要

学校という場所が好きで、小学校の時の先生がいつも笑顔で楽しかったこともあり、子どもの頃から教員志望でした。その一方で、正直残業が多い、準備が大変というイメージもどこかにありました。教員になって分かったのは、見通しをもって取り組み、周りにも協力してもらえば、あとは自分次第だということ。子どもたちと過ごす学校での時間を楽しみ、笑顔でいるためには、自分に余裕がなければならぬと感じています。これからたくさんの知識を身に付け、しっかり準備していきたいと思っています。



小学校/平成30年採用  
伊木 大地